

福島第一原子力発電所での事故を踏まえた泊発電所の対策状況

1. これまでに実施した対策

緊急安全対策

(1) 緊急時対応のための機器及び設備の点検

緊急時に必要な機器及び設備の点検を行い、異常がないことを確認しました。

(2) 全交流電源喪失時の運転操作手順の充実・訓練の実施

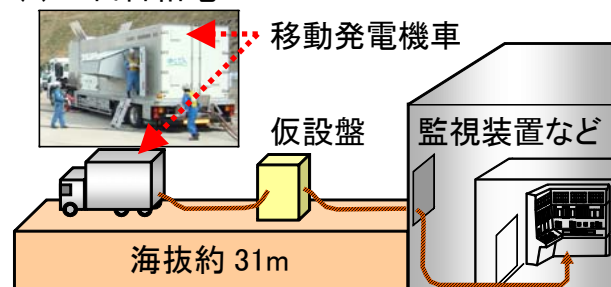
緊急時の原子炉及び使用済燃料を冷却するための手順を整備し訓練を実施しました。

(3) 代替給電

電源を喪失した場合でも必要な設備に電源を供給できるよう、移動発電車を高台に配備しました。

(3,200kW×1台、500kW×1台)

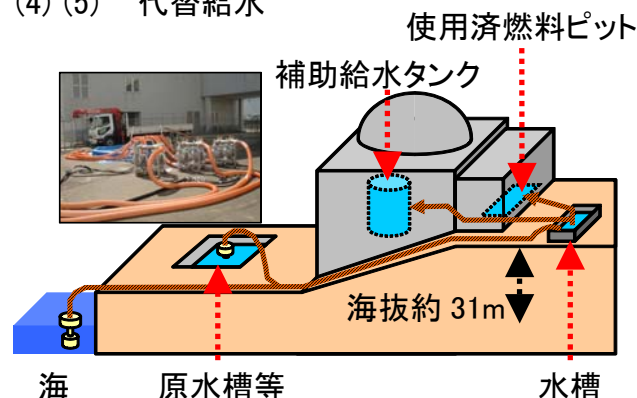
(3) 代替給電



(4) 蒸気発生器への代替給水

海水ポンプの機能を喪失した場合でもタービン動補助給水ポンプの水源に冷却水を供給できるよう、仮設ポンプ及びホースを配備しました。

(4) (5) 代替給水



(5) 使用済燃料ピットへの代替給水

海水ポンプの機能を喪失した場合でも使用済燃料ピットに冷却水を供給できるよう、仮設ポンプ及びホースを配備しました。又、既に配備済の消防車を活用して、同ピットへ水補給することも可能です。

(6) 安全上重要な機器を設置しているエリアの水密性向上対策

タービン動補助給水ポンプ等の蒸気発生器を介した原子炉の冷却に必要な機器が設置されているエリアの水密性を向上するため、扉の隙間にゴムパッキン施工等の対策を実施しました。

シビアアクシデントへの対応策

(1) 中央制御室の作業環境の確保

全交流電源喪失時においても移動発電機車から中央制御室空調設備へ給電して、中央制御室内の放射性物質を除去できるよう運転手順を整備しました。

(2) 緊急時における発電所構内通信手段等の確保

移動発電機車及び小型発電機から構内 PHS 電源装置への給電対策を実施しました。又、有線仮設電話、トランシーバ、衛星電話等を配備しました。

(3) 高線量対応防護服等の資機材の確保及び放射線管理のための体制の整備

- 事故時における高線量区域での作業のため高線量対応防護服を配備しました。
- 高線量対応防護服、個人線量計等の資機材を原子力事業者間で融通する仕組みを整備しました。
- 放射線管理要員以外の要員が放射線管理要員を応援する体制を整備しました。

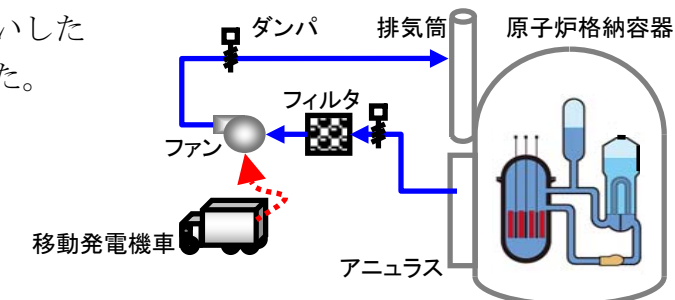
(3) 高線量対応防護服



(4) 水素爆発防止対策

原子炉格納容器からアニュラスに漏れ出した水素を外部に放出する手順を整備しました。

(4) 水素爆発防止対策



(5) がれき撤去用の重機の配備

構内道路等に散乱するがれきを撤去するため、重機 (ホイールローダ) を高台に配備しました。

(5) ホイールローダ



2. 今回実施を決定した対策および中長期対策等の実施状況

赤字：今回実施を決定した対策

青字：実施状況または時期を更新した対策

